

今年度 お世話になる皆さんです。
よろしく願います。

(敬称略)

地区	自治会長	体育推進員		青少年育成協力推進員
塚の宮	中川 美夫(監事)	宮野 良浩	吉村 さやか	近藤 千雄
習北	富田 末満	北川 典夫	大橋 智子	平墳 章二(監事)
習中	富田 收(会長)	富田 龍夫	高木 淳子	富田 真一郎
習南	江崎 豊	橋本 和恭	福田 茜	多賀 博史
福寿	田中 要	富田 義典	山河 亜矢(副員長)	山中 聡
共栄	宮野 宣康	早崎 健人	多和田 美子	小野 潔
大興	早野 信行	甚九 輝夫	和田真奈美(会計)	高木 亘
三共	一ツ松 茂樹	山内 崇(副員長)	若山 明日美	寺西 弘(書記)
大門	宮田 重信	杉江 和智	山元 良美	出口 竜也
勝一色	高木 美之	児玉 浩樹	高木 明美	桑原 幸也
親和	多賀 一二	生田 翔	富田美智子(書記)	富田 聡子
在原	岩井 衛	藤墳 浩二	広瀬 貴久子	江崎 春美
若宮	安田 次彦	藤墳 秀典(員長)	藤墳 珠代	川合 樹志
天王	清水 克治	多賀 信浩	多賀 広子	廣瀬 四郎
東和	小川 清	小川 靖博	長谷川 優子	廣瀬 充信(副員長)
昭和	早野 眞澄	多賀 繁樹	岡野 友美	縄田 弘孝(会計)
朝日	山元 利一(監事)	中村 崇	伊藤 明美	畑 恵三
新町	馬淵顧市(副会長)	早崎 明久	正岡 智子	若山雅明(員長)

上記の他、表佐を支えていただいている表佐まちづくり協議会への参画団体を紹介します。

表佐小学校・PTA 表佐こども園・保護者会 不破中学校・PTA 表佐駐在所 消防表佐分団 表佐寿会 子ども会育成会 民生・児童委員 スポーツ推進員 交通安全表佐支部 表佐商工会 農事改良組合 表佐アグリ 表佐地区推進会議 ささえあい連絡会 表佐太鼓踊り保存会 ちさと子ども教室 福祉推進員会 地域防犯推進員会 ハリヨ・ほたるを育てる会 JA垂井支店 地区在住町議会議員 遺族会 表佐地区まちづくりセンター (順不同)



まち協ホームページへのアクセスはこちらのQRコードから

ちさと

表佐まち協だより

2023年5月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐 1723-1
Tel・Fax22-1011
Mail:osakou@town.
tarui.lg.jp
広報部会



表佐小ヒトツバタゴの花

ホームページリニューアル
町協ホームページのリニューアルに伴い、表佐まち協のホームページもリニューアルいたしました。これに伴いアドレスも変更となっております。新しいホームページへのアクセスは左のQRコードからお願いします。

ハリヨ便り

新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認されて三年経ち、この五月八日から季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げられる。「五類」引き下げについて賛成と応えた割合は五四%と反対を上回った(読売新聞調査)。新聞報道で垂井町の感染者数が「ゼロ」になると、安堵感を覚えたことも過去のことに成る▼他人にうつさない、迷惑をかけないという意識を持つ人が増え、気配りの大切さが分かった反面、行動が制限されて、ストレスがたまったとの意見もある。社会全体ではコロナの感染拡大に対応できたが、地域のコミュニティが分断され、社会活動の多くに支障が出ました▼しかし「明けぬ夜はない」を信じて良かった。まちづくりの行事が従前通り実施できるように健康管理に留意して、地区民の絆を深め連帯を強くする活動に、こぞって参加しましょう。

行事・講座・教室名		
実施日	時間	場所
ちさと子ども教室 さつまいもの苗を植えよう		
5月6日(土)	9:30~11:30	表佐小南畑
料理教室 アサリの炊き込みご飯に挑戦		
5月13日(土)	10:00~13:00	表佐まちセン
ちさと子ども教室 茶道教室 美味しいお抹茶をいただきます		
5月20日(土)	9:30~11:30	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン 楽器の演奏にあわせて合唱しましょう		
5月25日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン
5・6月の行事・講座		
新型コロナウイルスの感染状況によって、延期・縮小・中止の場合があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。		
ハリヨ・ほたる祭り 今年もハリヨを展示します		
6月3日(土)	18:00~21:00	ハリヨの里
園芸教室 夏野菜の管理、育て方のポイントを学びます		
6月4日(日)	13:30~15:30	表佐まちセン
寄せ植え教室 夏向きのお花で寄せ植えします。詳しくは回覧で		
6月9日(金)	14:00~15:00	表佐まちセン
ダンボールコンポスト講習会 エコノミーとエコロジーの両立		
6月12日(月)	13:30~14:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室 とうもろこしの収穫。たくさんとれるかな?		
6月17日(土)	9:30~11:30	表佐小南畑
いきいきふれあいサロン 元気に楽しく学ぼう健口教室		
6月22日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室 科学の不思議を体験しよう		
6月24日(土)	9:00~11:00	表佐まちセン
カワニナ採り ほたるの幼虫のエサのカワニナを採ります		
6月24日(土)	13:30~15:00	ハリヨの里

5・6月の休館日

5月 1日(月) 5日(金) 9日(火) 16日(火) 23日(火) 30日(火)
6月 6日(火) 13日(火) 20日(火) 27日(火)

がんばる表佐の子



表佐剣道少年団

新年度
新入団員募集中



表佐野球少年団

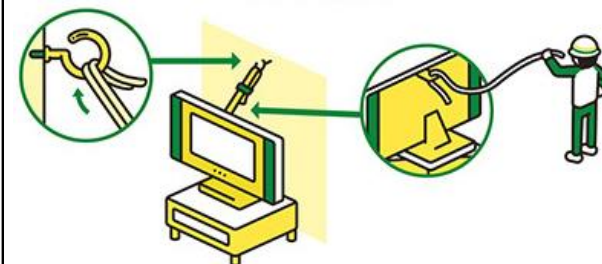
お知らせ
昨年7月からセンター及び協議会の業務を担当してきた大橋孝幸センター員が3月末をもって退職されました。4月からは、新たに山田邦夫センター員が就任しました。前任者同様、よろしく願いました。

防災コーナー

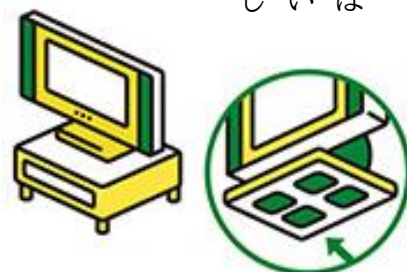
防災の備えは何から? 2

寝室でのタンスなどの家具の転倒防止の次は、居間や他の部屋でのテレビなどの置き家具です。

薄型テレビやパソコンとそのモニターなどの置き家具は不安定でとても危険です。大きな揺れでは「飛んで」きますし、そうでなくても、倒れて窓ガラスに当たることがあります。



ロープやヒートン(金具)などで固定したり、粘着性のマットを敷いたりして落下を防ぎましょう。
また、テレビはできるだけ低い位置に置きましょう。



防災ネットワークOSA



NHK『今すぐできる! 家の中の地震対策』

(前回・今回とも、NHKの『今すぐできる! 家の中の地震対策』からイラストの引用、対策を参照しました)

令和5年度 表佐まちづくり協議会事業計画概要

	生涯学習事業	地域ふれあい事業	協働のまちづくり推進事業
	生涯学習推進のために各種講座を開催し、住民の学習機会の拡大や充実、生活の向上、能力の向上を目的とする。	歴史・文化の保存継承及び発展に関わる事業や、体育事業や交流事業を通じ地域の絆を深め、ふれあいの場を提供する。	各種広報活動や防災・防犯、環境美化など、誰もが住みたいまちづくりを模索し、地域の発展を目的とする。
具 体 的 な 事 業	教養講座事業 ・園芸教室 ・寄せ植え教室 ・剪定教室 ・陶芸教室 ・手芸教室 ・料理教室 ・スマホ教室・パソコン教室 ・創作教室 ・文化講演（歴史、文化） 体育推進員研修会 健康づくり事業 ・認知症対策教室 ・保健センター教室 安全対策事業 ・防犯教室 ・交通安全教室 ちさと子ども教室事業 ・実行委員により年17回程度の教室を開催	地域福祉推進事業 ・ふれあいサロンの支援 ・地域福祉推進員研修支援 青少年健全育成事業 ・青少年健全育成地区民大会 ・青少年非行防止パトロール ・ラジオ体操の集い+1 ・三世代親子なかよし祭り 地域体育事業 ・合同体育祭 ・スポレク大会 地域にぎわいづくり事業 ・盆踊り大会 ・文化祭 ・子どもみこし ・ウォーキング大会 地域伝統文化継承事業（協賛） ・表佐太鼓踊り ・表佐祭り	防犯・安全対策事業 ・地域見守り隊 ・地域防犯パトロール・地域交通安全 防災対策事業 ・防災ネットワークOSA活動（提案型協働事業） ・町総合防災訓練参画 環境美化・景観維持事業 ・美化デー、中川美化運動・環境整備参加 ・ハリヨ・ほたるの里づくり ・ハリヨ・ほたる祭り ・水質検査 ・ダンボールコンポスト・地区花壇の整備 子育て・高齢者支援事業 ・ふれあいキッズ ・高齢者ネットワーク センター利用向上 ・子育て世代への働きかけ 広報・情報発信事業 ・広報紙「ちさと」発行 ・まちづくり協議会HP充実
	・各団体の活動が十分に目的達成できるよう連絡調整、支援をします。 ・その他地区事業として効果的な事業を推進します。		

令和5年度 表佐まちづくり協議会予算

収入		単位：千円		
項 目	令和5年度 予算額	前年度 予算額	比較	備 考
交 付 金	2,226	2,231	△5	町交付金
補 助 金	713	718	△5	各種団体活動・提案型事業補助金
助 成 金	400	400	0	連合自治会助成金
寄 付 金	1	1	0	協賛寄付金
繰 越 金	350	226	124	前年度繰越金
雑 収 入	3	3	0	コピー機使用料等
合 計	3,693	3,579	114	

支出		単位：千円		
項 目	令和5年度 予算額	前年度 予算額	比較	備 考
運 営 費	1,210	1,200	10	報酬、消耗品、備品、修繕、保険料等
生涯学習事業費	359	359	0	園芸教室等各種講座・教室開催費
ふれあい事業費	1,013	899	114	体育祭、文化祭、盆踊り開催費等
まちづくり事業費	161	161	0	環境保全活動、防犯・安全、広報ちさと等
提案型協働事業費	235	235	0	防災意識向上、体制構築等
各種団体活動費	673	683	△10	青少年育成、体育推進、子ども教室等
予 備 費	42	42	0	
合 計	3,693	3,579	114	

支出予算は流用することができる。

令和5年度 表佐まちづくり協議会事業の基本方針

はじめに

新型コロナウイルス感染症で、地域ふれあい事業の自粛や中止が相次ぎ、地域の繋がりが希薄化する問題に直面しています。

そのようななか令和5年度は、ウィズコロナ（新型コロナウイルスとの併存での生活様式）で、まちづくり事業をどの様に進めていくか良く検討し、様々なニーズ、変化に柔軟に対応できるようなまちづくりを進めてまいります。具体的には、防災体制の構築、スポーツや生涯学習、青少年の健全育成、伝統文化の継承、福祉の推進、子育て支援、環境保全などの事業を、皆さんと一緒に進め、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい」と実感できるまちをつくってまいりたいと思います。

コロナ禍で分断されたかに見える「人と人とのつながりや助け合い」を再確認し、信頼関係を増幅してゆきます。大きく跳び跳ねる卯年、いまこそ「あなたの参加がまちづくり」「みんなが主役の共生のまちづくり」を目指します。

1. 活動目標

「郷土の絆を深め、連携を強くし、住みよいまちにしよう！」

2. 具体的活動目標

- (1) 安全で安心して生活できるまちづくりを推進する
- (2) スポーツや生涯学習、クラブ活動の活性化を目指す
- (3) 青少年の自主性や健全な育成を支援する
- (4) 高齢者の活性化や子育て支援、福祉の推進を目指す
- (5) 郷土の伝統や文化を通して共生できる表佐を目指す
- (6) 自然環境保全や省資源活動で、住みよい環境や明るい人間関係を構築する
- (7) まちづくり協議会構成団体の諸活動を支援する

